

# 昔話法廷

ねらいと展開

## 第6話「浦島太郎」裁判

### 本時のねらい

- ・被告人の乙姫を刑務所に入れるか執行猶予にするかについて、番組で説明される証言や証拠、検察・弁護双方の言い分を理解して、多面的に考察し、自分の考えを持つことができる
- ・理由を明確にして自分の考えを伝え合うことができる。

### 展開例 ※( )は中高の時間

時間の目安	主な学習活動	指導上の留意点
	<b>1. 課題を確認して番組を視聴する</b>	
17分	<ul style="list-style-type: none"><li>・理由や根拠を明確にして自分の考えを伝え合うことを確認する</li><li>・裁判員裁判について簡単に説明し、自分も裁判員になったつもりで中立の立場で視聴する</li><li>・大事なことはメモを取りながら視聴する</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・番組視聴後、裁判員として判決を考え、話し合うことを確認する</li><li>・先入観を持たないように、昔話の内容を視聴前に説明しない</li><li>・法廷でのやり取りだけを根拠にして考えることを確認する</li><li>・なぜそう考えたか根拠が大切になるので、メモをとるよう指導する</li></ul>
	<b>2. 裁判の争点を確認する</b>	
3分	<ul style="list-style-type: none"><li>・乙姫は浦島太郎を殺そうとした罪は認めている</li><li>・今回考えるのは、乙姫を殺人未遂罪で刑務所に入れるべきか執行猶予にすべきかということ</li><li>・乙姫に同情の余地があるかどうか</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・この授業で何を考えるのか確認する</li><li>・執行猶予の意味を説明する</li></ul>
	<b>3. 自分の考えを決定する</b>	
5分	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の考えを決定し、その理由をワークシートに記入する</li><li>・特に判断の決め手となった証拠がどれかわかるように書く</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・理由をしっかりと書かせる</li></ul> <p>*タブレット端末で視聴する場合は理解に応じて繰り返し視聴する時間を設けたり、根拠となるシーンの静止画像を撮影させたりする</p>

時間の目安	主な学習活動	指導上の留意点
<b>4.裁判で出た証言や証拠をグループで整理しながら、討論する</b>		
15分 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで司会役、記録役を決めて活動する</li> <li>・取ったメモをもとに、表を使って、証言や証拠を整理する</li> <li>・相手の説明をよく聞き、質問をしたり反論をしたりして自分の考えを深める</li> <li>・心が動いた意見はメモしておく</li> <li>・司会役の児童生徒は論点表を活用してもよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋を利用するとよい。グループに配布し、そこに証言や証拠を書き出す。有罪にはたらくか、無罪にはたらくか、考えながら分類する</li> <li>・クラスの実態に応じて、グループでなく全体で確認してもよい</li> <li>・教師はグループ間を巡視し、出てきた意見に対し「この証拠はこんなふうにもとれないか？」などの問い返しをし、違う見方をさせたり、批判的思考を促したりする。</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;">*タブレット端末を活用する場合は、根拠となるシーンの静止画像を提示しながら討論してもよい</p>
<b>5.最終的な自分の考えを決定する</b>		
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・討論での友達の考えも参考にしながら、最終的に自分はどう判断するか、理由とともにワークシートに記入する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の論を作ることがゴールなので、グループでの判決は出さない</li> <li>・自分の意見の変容があれば、誰のどんな意見に影響を受けたか書くよう指導する。</li> </ul>